

16

MT

161752 1316

REEL No. 1-0959

0343

680723

電信課長 奎

大臣

次官 十

石井外務大臣

今井總領事

香港發 大正五年五月廿五日 二二〇

政務

通商

人事

會計

文書

參政官

副參政官

香港發廣東總領事宛電報

昨六日天洋丸出帆前警察署長數名支那探

偵ヲ率ヒ温宗堯周善培兩名ニ對シ船内ニ於テ

種々ノ質問ヲ試ミタル由ナルガ其當時本官ヨリ

兩人宛ノ書状(封筒ニ本官及受信人ノ姓名ナシ)

ヲ東洋汽船會社支配人ニ托シ持參セシメタル處警

察署長ハ該書状一覽ヲ請ヒタルモ支配人ハ断

MT 161752 1317

及雜

680724

電信課長 奎

大臣 石井 次官 十吉

四二八五 暗 香港 本署

大正五年五月十二日 十四日 十四日

今井 領事

政務 第一七三三号

通商 人事 會計 文書

當地總督ハ日本官ニ面會ヲホメ重要ナル用向トノ前置ヲナシ伴電第一六七号本官ヨリ温泉克亮ノ書信寫ヲ示シテ曰ク該書状ハ偶然警備ノ手ヲ入り先モノナルカ支那今田ノ事關ニ関シテハ予ハ極力中立ノ態度ヲ取り在留人ヲシテ一切支那事件ニ関與セシメサル方針

參政官 副參政官

MT

161752

1319

然拒絶セル結果船内郵便函内ニ在書状ヲ一々開封嚴重ニ検査セル趣ナリ右次第ニ府梁啓超不日乘船ノ場合ニ於テ特別ノ注意ヲ要スルコト、信ス右同人ハ御傳ヲ請フ外務大臣、在支公使ハ電報セリ

MT

161752

1318

680725

為ヲ否認スル譯ニアラサルモ香港ニ於テ此種ノ
 行節ヲ執リテ遺憾トス殊ニ朱鄧兩名ハ連
 捕命令ヲ下シ捜索中ハ人物ナリト極メテ鄭寧
 ナル語調ニテ語レリ右ニ封シ本官ハ朱鄧カ犯
 罪人タルノコト實ハ一切承知セズ得又本官ノ執
 レル調停行為ハ全ク对人信用問題ナカ故ニ
 何人ニテモ出来ル仕事ニテラス最モ今井博士ノ執
 ル後ヲ引續キ全ク人道上ノ見地ヨリ出テ行爲
 ナリ此調停成功ヲ見ハ香港附近地方ノ動乱熄
 ミ貴政府モ其恩澤ヲ享スル譯ナラヌヤ要スルニ

MT 161752 1321

ヲ執リ今日迄成功ノ積ナリ予ハ外交家トアラヌ
 只本國政府ノ命ヲ奉シ治安ノ責ニ任スルカ故
 ニ政府カ南軍新政府ヲ認ムレハ予ハ其命ヲ
 奉スルノコトモ現下ノ情況ニテハ何人モ香港
 内ニテ叛軍ノ人ト交渉スルヲ好マズ予ハ友人
 トシテ且ツ総督トシテ貴官ニ注意シタキハ今
 後貴官カ此書状ニアルコトノ調停セラルルナレハ
 カクモ香港ヲ去リ二三週間他ノ地方ニ於テ高
 サルコトヲ希望ス現ニ廣東英國總領事
 モ此種ノ調停ノ事ニ盡力中ナレハ貴官ノ行

MT 161752 1320

680726

ルニ自分ノモニアラスト云々云々テ返査ノ手ニ入り
 モノナリト云々云々(右ノ東洋汽船支那人カ警察
 官ノ去リシ後手渡シセシ由ナカ多分温カ警察官ヨ
 リ盗ニ取レシモト察スルモ今更査儀云々致
 方ナキニ付捨置ケリ)

本官書状ノ譯文左ノ通

只今陸軍省ヨリノ來電ニ依レハ渡居越ハ日本出
 発ヲ見合セタリ并戸川大佐モ亦電報シ周善塔ノ
 出発ヲ七日迄延期セラレタリ大佐ハ周氏ニ會見
 ノ爲メ當地ニ来ルヘシ右返事アリモ郵經ハ合

MT 161752 1323

支那ニ於テハ政事上ノ意見ハ貴官ト本官ト異ル
 モノアリトスルモ予ノ執見ハ調停ハ政事問題外ナリ
 全ク人通向題ナリ予ハ予ノ行為カ俯仰天地
 ニ耻シク積ナリ著シ書状ヲ往復スルト不都合ナ
 レバ傳言ニテ調停ヲ計ルシト云ヒ調停ヲ
 中止スルトノ言ヲ察セス更ニ本官ハ總督ニ對シ本
 官カ合法ニ察セン信書カ警察案ノ手ニ入りシハ如何
 ナル理由ニ基キヤ貴官ハ如何ナル法規ニ基キ本
 官ノ候書ヲ開封セシタルヤト詰問セシニ若ハ温察
 竟カ一讀後船室ニ捨テ置ケルモノヲ同人ニ聞キタ

MT 161752 1322

680727

在スルハ累テ政府ニ及ヒテハ申譯ニ事之ニ付本
官ニ對スル処分方何分ノ何珍儀置キ相致度
尚按信書原文ハ郵送ス

MT

161752 1325

朝澳門ニ行キ徐勤ト聯合セテ様米ヲ既得
ノ筈ナリ予ハ米及鄧兩名ヲ番港ニ所寄セ岑ト
一致ノ行動ヲ執ルハク報告ノ考ナリ予ハ鄧ヲ肇
慶ニ送り岑ト直接ニ協議スニト既得シ得ル
ナラント信又形勢實ニテリケトナリ岑ハ此形勢
ヲ十分諒解シ居ラセヤニ見受リシニ付貴下兩人
カ岑ニ書状ヲ送ルニトヲ望ム文群カ當地ニ帰
リ地エス予ト接觸スルニトハ予ノ切望スル所ナリ
否ハ本官個人トシテ若クハ未事ニ関シ何事カ
意スル所ナリ行動ス積ナルモ此上長ク當地ニ滞

MT

161752 1324

電信課長 奎

大臣 石井

次官 十吉

政務

通商

人事 濟

會計

文書

四八晴

香港 本署 大正 五年 五月 十四 日 前 四 日

森田 五井 外務 大臣

今井 總領事

第一七四號

往電 第一七三號 二閱 東洋汽船支配人ニ聞

紅丸所 温 該書狀一覽後 縱横ニ引續

キル見 糸ノトノト十九カ 察見ニ 警務 探偵

右ノ引 裂キル 紙切レテ 控ニ 警務 令セキモト 恩

副參政官

參政官

MT

161752 1326

電信課長 奎

大臣 石井

次官 十吉

政務

通商

人事

會計

文書

參政官

副參政官

香港 本署 大正 五年 五月 十四 日 前 四 日

石井 外務 大臣

今井 總領事

第一七五號

往電 第一七三號 二閱 本日更ニ 總督ニ 面會

シ例 書狀 寫カ 原文トニ 三ノ点ニ 付 相達セルヤニ

記 應スルニ 付 為 念 原文ノ一覽ヲ 請ヒタルトニ 口 總

署ハ 原文ハ 無シト云ハルニ 依リ 去ラバ 如何ニシテ

寫テ 取ラシヤト 問ヒタルニ 右ハ 警察 署長カ 船

内ニテ 温ノ 許諾ヲ 得テ 寫シタルナリト 答ヘタルニ 付

本官ハ 更ニ 本官ノ 調査セル 處ニテ 温ハ 該書狀ヲ

MT

161752 1327

680729

「タルカ彼ハ林帝ニ相レル様子ナリ其會見ニ於テ
本官ハ極メテ丁寧ニ而カモ皮肉ニ彼ノ間諜的賤
劣ノ行動ヲ充分辱シメ置ケリト信ズ
更ニ彼ハ別レニ臨ミ貴家族ハ近々出發避暑セ
ラルヤト聞キタルニ付本官ハ先日モ御話セル通り
本官モ賜暇請求中ナル其許可アル同行スル筈
ニテ引止メ居レリト答へ暗ニ何時帰朝ノ御命令
アルモ体面ヲ傷ケザル様取計置ケリ

MT

161752

1329

縦横ニ引裂キタリトノコキニテ且ソ警察署長ハ
東洋汽船支配人ト同時ニ下船セリト聞ク如何ニ
シテ船内ニテ寫ヲ取ラレシヤト突止メタルニ彼ハ
貴官ハ支那人ト我官憲ノ言フ所ヲ比較シ何レヲ
信セラルヤト謂ハタルニヨリ否ナ支那人ニアラズ日
本人ノ目撃者ノ確言ナリ貴國紳士ノ言ヲ信シタ
キモ如何ニモ矛盾ノ説明ニ付御尋ネスル次第ナリ本
官ト貴官トノ政治上ノ見解ノ差異ハ致方ナキモ本
官ハ自己ノ品性迄モ疑ハルヲ欲セス原文ヲ一
見シ説明シタキモ御所持ナケル致方ナシト述

MT

161752

1328

電信課長 査

大臣 石井

次官 大石

政務 藤田

通商 森田

人事 六

會計 六

文書 藤田

參政官

副參政官

香港貴族五年五月十三日第一〇、五、五
本省著

石井外務大臣 今井總領事

往電第一七三既二関ニ在上海總領事ヲ經テ
温宗堯ニ書信寫取ラシムル実況ニ付取調スル
右ハ警官ヨリ無理ニ携帶書信等ヲ搜索セラ
レタルトキニ警官ニ依リ該信ヲ寫取ラシムル
ノニテ書状ノ内容ハ英人及香港ニ関スルニトナ
リ何レモ平和解決ノ方法ノニ付別般ノ不法密
書ニ非ス云々ト申述セリ

MT 161752 1330

680730

右ニ依ルハ該書状ノ断片ヲ集メ謄寫セリトノ本
官ノ想像ハ闊達ト居リタルモ夫レニテモ總督
ノ所謂偶然和室内ニテ書状ヲ發見シ許諾ヲ得
テ寫シタリトノ説ハ全ク虚偽ニテ彼及其ノ部下
カ適法ナル手段ニ據ラズニテ他人ノ信件ヲ寫セ
シ行動ハ確カニ間諜的行為ナリ

MT 161752 1331

水

680731

寫

暗

青茂 大正五年五月十五日

石井外務大臣

今井總領事

第一七七號

往電第一七三號未段ニ因シ未タ未田實ニ持セ
サル此機ニ際シ特ニ卑見ヲ用陳シ師高閣ヲ
仰キ度義アリ左ニ簡早ニ周陳ス

今面ノ動乱ニ際シ貴電第一〇號ノ大方針決定
セラルヤ本官ハ勇躍奉公ノ誠ヲ竭シユトナ
期シ一身ヲ犠牲ニシテ今日ニ至リ唯本官ノ行動
シテ高一累ヲ政府ニ及カスカ如キニトテハ本官一

己ノ進退ヲ以テ共責ヲ償フ能ハサルハキヲ思ヒ自
己ハ勿論部下ヲ督勵シ細心ノ注意ヲ以テ執務
シ現ニ今面ノ書状ノ如キモ封筒面ニ受信人ノ姓
名ヲ記セサル程ナリシモ不幸ニ意外ノ破綻ヲ來シ
政府ノ迷惑恐露ニ歸ッアリ幸ニ書面ノ内容
ハ單ニ調停問題ニ係リ又當地官憲ノ不法手
段モアリ正々堂々論辯シ置キタルハ既電ノ通リ
ナルモ免ニ角右ニ依リ本官ノ職中莽躍ノ証據
ノ一端ヲ握ラルニトナリ從來ノ苦心水泡ニ歸シ
遺憾限リシ此際本官一己ノ進退ノ如キハ問題

MT

161752

1333

MT

161752

1332

ニアラズ只特ニ市高案ヲ作キ度々今回ノ郵札ニ
 因シ英國ハ極力北方ヲ援助シ我行動ヲ注視スルニ
 ト峻嚴ヲ極メ居レリ去レハ本官發見ノ電報數
 ニニテモ優ニ我ヲ疑フニ是ル右以外ニ彼等カ我ヲ
 疑フ事蹟極メ多シ此時ニ際シ本邦カ如何ニ
 秘秘ヲ守ラントスルモ各地ニ於ケル我信郵ノ果シテ
 終リ迄秘シ得キヤ否蓋シ大疑問ナリ況シヤ現
 下ノ形勢ニ顧ミ武器及ヒ巨額金圓ノ供給ハ南
 方ヲ成効セシタルノ絶對必要條件タル時機ニ際
 シ從來ノ秘密主義ヲ嚴守セバ彼英國ハ我政

MT 161752 1334

策ヲ目シテ良心ナキ陰謀政策トナシ独逸主義
 ト同一視スルキハ想像ニ難カラズ君シ我政府ニシテ
 岸軍ニ對シ好意ノ援助ヲ全廢セラルル市方針
 ナレハ必ニ角然ラサル限リ適當ノ方法ニ依リ或ル
 程度迄我方針ヲ英國ニ通告セラルルニト可ナラ
 サルカ蓋シ英國ヲシテ支那ニ於テ我政策ニ信賴
 セシムルハ容寧ロ今後ニ於テハ表裏支對ノ秘密主
 義ヲ中止セラント得策ヲラントハ本官ノ懷抱セ
 ル身見ナリ君シ夫シ我政府ニシテ飽ク迄モ右ノ
 主義ヲ嚴守セラルルノ市方針ナリ此際本官ヲ

MT 161752 1335

680733

誠有レ彼ニ對スル表面ヲ痛達セラルルニトモ
 確カニ策ヲルルニ思ハレ今後各地ニ於テ我秘
 密續々暴露スルヲ俟リニ我ニ於テ秘密ヲ守
 ルモ元來之ヲナシ得ザル支那人側ヨリ破壊ヲ未
 スハ想像ニ難カラズ况ヤ彼等ハ我ノ援助ヲ待ニ
 吹聴シテ北方ニ對スル利用策トナセル事實アル
 ヲヤ
 右謹テ閣下ノ御参考迄ニ申進ス

MT 161752 1336

REEL No. 1-0959

0354

680734

昇
一
件

昇
一
件

文書課長



大正五年五月十八日接受

大正

年

五月十八日

附

同政

五年五月十八日

附

機密

機密送第八四號

主任 小野 森田

主簿 政務局長 濟

第一課

別紙

尾
七
科

左支

日置公使

一
升
大
臣

電行送付送付件

本大臣記在香港及今打給領事

及電行一七三三乃

外務省

一七三三乃

傳保通而三人及送付件也

一七三三乃

一七三三乃

寫
付

MT

161752

1338

MT

161752

1337

及
雜
件

改一

大正五年五月十九日接受

大正五年五月十九日接受

第一課

第一課

森田

岡部

岡部

岡部

大正

石井

大正五年五月十一日

在香港

總領事 今井忍郎

總領事印

680735

傳信

秘受5364號

外務大臣男爵石井菊次郎殿

書簡写送付ノ件

本日發往電第173号未段ニ関スル書簡写別紙一通
リ及御送付候間御査閲相成度此段申進候

敬具

在香港日本總領事館

MT

161752

1339

石井

REEL No. 1-0959

0356

LETTER.....

Japanese Consulate General,

Hong Kong, 5th May 1916.

Dear Mr. Weng,

I am just now in receipt of a telegram from Shiu Hing which says that 梁啓超 has put off his departure to Japan. Colonel 井川 also telegraphed me to ask Mr. 高 if he will not be able to postpone his departure till the 7th inst., as the Colonel is coming here expressly to see him. Any reply he gives me will be sent him by wire.

Mr. 劉金堅 has left this morning for Macao, to defeat Mr. 朱 in argument not to unite with 徐勤. I intend to call Mr. 朱 and 劉 to Hong Kong to see me, when I will press strongly upon them to take same action with Mr. 岑. I think I can succeed in sending Mr. 劉 to Shiu Hing to discuss directly with Mr. Sham. The situation is most delicate and I am afraid that Mr. 岑 does not fully understand fully well the present situation so far as it concerns 朱 and 劉. You and Mr. 高's cordial letter to Mr. Sham on the subject will be most effective.

You will greatly oblige me by recalling Mr. 文羣 here to communicate and to be constantly in touch with me.

Yours faithfully

(signed) S. Imai.

680736

MT

161752

1340

REEL No. 1-0959

0357

680737

人事課長

笑

寫

極秘

五月廿六日

素史大将書

津浦第一號

大正五年五月十二日

於香港

海軍少佐津田静枝

軍人少部長島村連雄殿

香港政廳ノ支那革命亂ニ對スル態度ニ就テ

當地駐在ノ我總領事今井忍郎氏ヲ支那革命派ノ一人トシテ
克、宛テタシテ書英園官憲ノ手ニ入り為メ、香港太守ヲ我總領事
ニ致テ考テ其ノ件一アリ概要以テ知シ

本月四日滬寧英周美培ノ二人ハ香港駐在ノ用務ヲ帶ヒ聲慶ヲ
送シテ上海ニ向テ途以吉地ニ立寄リシカニ英園官憲ハ革命派
ノ取締ニ碍ナルノ聞知セン彼等ハ我總領事ヲ斡旋シ諸ノヲ英
洋汽船會社ノ天津丸ニ乘リ搭乗宿泊シテ

海軍

當時者方面、於テリ参考情報派ト孫逸仙派トノ提携尚ホ未タ全カラ
スレテ為メノ廣東者、略雲一掃サレテ斯ルハ情況ニ從テ孫逸仙
カノルノミシテ却テ革命派本末ノ大目的ヲ混濁シ大馬ヲ操ル
モノト認メラレシテ以テ我今井總領事ハ、滬、周、美等ヲ接シテ兩
派妥協一致ノ為メ大ニ努力セシ本件ニ關スル用務ヲ認メタシ書
ヲ送、送ラレトシテ天津丸出帆ノ實際ニ之ヲ英洋汽船會社香港
支店長ニ托シタシモノナリ然レドモ本月十二日、多ク香港太守サ
ヘンリー、メイ、ハ親シク今井總領事ニ面談シテ我總領事ノ腹案ヲ
示シ茲ニ記載シカカキテ件即チ支那、動亂ニ關係スル如キハ勿
論英官ノ注意ニテ現ニ英園、陸軍部、海軍部、如キニ此種運送ノ努メ
タルコトアレハ致テ免カレテ英官ノ行為ヲ議スルハ非ラサレハ
本件ニ我總領事係安上此種ノ事件ハ香港ニ於テ交理サレハ好マストノ
言ノ明カシテ我總領事ノ反者ヲ我總領事ノ依テ總領事ノ本件ニ

MT

161752

1342

MT

161752

1341

680738

法學博士
今井嘉孝

地方ヲ麻痺スル人民ヲ懐柔シ其ノ隔心ニ憂アレハ政は上リ離レ軍ニ
人送問類トシテ監視スルニ忍ビ個人トシテ彼等ニ忠告ヲ与ヘルニ過
キヤル者ヲ抗論シ一様シラ者友ハ如何ナル理由ニテ個人ノ信ヲ押
收閉シタル、自由ヲ有サルヤト反問シタル、彼ニ唯保衛ノ機會ニテ
入手シタルモノナリトシ其ノ説明ヲ附ケテアリト云フ

然レ我々海軍艦隊ニ香港駐在長ノ現場ニ開スル説明其地ノ情況
ヲ綜合シテ考フルニ天洋丸出帆ノ際數名ノ英人接見會船ニ來リテ
溫國等ノ身邊ヲ接近シ船内郵政箱ヲ点検シ偶ニ紙支長カ紙
領子ヲ見付カテ邊ニ手交セシトセシ際ニ英接見會船ノ一人ハ紙支長カヲ押
收セシトシテ拒アレモ其子實アリ而シテ邊カ紙支長カニ紙支長カニ後之ヲ
紙支長カヲ數レテ屠戮シ殺シトシ先ハ紙支長カノ親シク目撃セシ所ナ
ト云ヘリ其地ハ紙支長カノ手交セルモノ之ヲ寸數セラシタル紙片ニ綴接
得ルモノコレトシ此ノ寸數セラシタル紙片ハ船中ノ使役人ヨリカ又ハ左

海軍

接前記ノ英人接見會船ヨリ得タルモノト判断セサル可カラズ
以上ノ事實ヨリ考察スルニ香港政府支那ノ革命動向ニ對シテ其意向
ノ一端ヲ窺ハスルニ得テ又本事件ノ關係ハ如何ナルニシテ、國密ヲ
破ナルヤリテ解シ得テシ我々對支政策遂行上大ニ考慮用心ヲ
要スルニ至タルヲシト思フベシ

備考

- 一、太守ノ我々總領事ノ任中ニ其名ヲ見ハレ居ル未執任、鄧鑑孝
ニ當テ其地政府ヲ保安ヲ授カスモノト思フニ退去スル分ヲ受ケ
タルモノコレトシ高ニ免除ノ期ニ達セシ流ケ若シ發覺サル、時ニ至
テハ押傳者カサルリキ人ヲナリト附言セリト
- 二、往々我々法學士今井嘉孝氏雲南政府ニ送ラレテ漢ノ途ニ次
香港ニ於テ其身邊ヲ接近セシ重要ナル信書ヲ押收サレタル件アリ

MT 161752 1344

MT 161752 1343

680745

7

<p> 此ノ事ニ關シテ、 上ノ報告ニ依リ、 本館ニ於テ、 調査ノ爲メ、 必要ノ資料ヲ 蒐集スルコトヲ 決定セリ。又、 本館ノ調査ノ 結果、 必要ノ資料ヲ 蒐集スルコトヲ 決定セリ。又、 本館ノ調査ノ 結果、 必要ノ資料ヲ 蒐集スルコトヲ 決定セリ。 </p>

在香港日本總領事館

MT 161752 1357 887161

REEL No. 1-0959

0366

680746

上海來電(暗)

五月十二日午後九時上海發
午後十時香港着

十一日發貴電ノ趣ニ依リ直々ニ温宗堯ニ傳キ正シタルニ
其直話ニヨレハ本月六日迄貴官ヨリニ通ノ密書ヲ自分ニ
送ラレタルカ其一通ハ貴館員ヨリ手渡他ノ一通ハ東洋
汽船會社支配人ヨリ手交セラレタリ右ノ内前信ハ自分
カ願啓漢ト間違ヒラレタルモノニテ英國警官ヨリ無理
ニ携帶書信等ヲ搜索セラレタル時ニ該信ヲ寫シ取
ラレモ原信ハ取上ケラレス自分カ引キ裂キタル後海中
ニ投シ後信ハ一度警官搜索ノ時ニ支配人カ自ラ引
渡セントレテ未室セシモ自分ヨリ受領方ヲ具合セタル
ヨリ同支配人ハ其儘室外ニ出テ警官カ上陸後ニ自分
カ受領シ閱讀シ上之レ又引裂キテ海中ニ投セリ依テ
ニ通共原信ハ警官ノ手ニ入り居ラス又書信ノ内容モ
勿論警官ノ知ラサル處ナリ只前信ノ内容ハ先方ニテ
寫シ取りタルモ英人乃至香港ニ聞スルモノナリ何レモ
平和解決ノ方法ナルノミ付別段ノ不法密書ニアラ
ス又場合ニヨリテ原信ヲ示ヘシトテ詰問セラレテモ宜
シカラント存ス云々ト言ヒ尚ホ温ノ直話ニ依リハ由時同
席セシ周善培モ之レヲ事實ト認メ居レリ

在香港日本帝國總領事館

有吉

MT 161752 1359

MT 161752 1358

REEL No. 1-0959

0367

2 680747

just now written a letter to Shiching requesting Mr. 文輝 to return to Hongkong at once so that if you have any important matter, you may be able to communicate it to him direct.

Mr. 周 and I will write again to Mr. 文輝, impressing upon him the great importance of having a cordial arrangement with Mr. 文輝. We are glad to hear that you will urge Mr. 文輝 to go to Shiching to see

MT 161752 1361

3 680748

Mr. 文輝 and discuss the matter direct with him. We feel sure that some satisfactory arrangement will be effected so that the general situation may be safe.

With many kind regards,
Yours very truly,
Wen Tsung-yao

MT 161752 1360

May 5th 1916

Dear Mr. Inai,

Many thanks for
your kind letter. Mr. 田 says
he is sorry that he cannot
postpone his departure for
Shanghai till the 7th instant.
He asks you kindly to tell
Colonel 伊豆川 that
if the Colonel has any-
thing to say to him, he
may wire it to General
Aoki in Shanghai, as he
will see General Aoki
as soon as he arrives in
Shanghai.

Mr. 田 and I have

MT

161752 1362